



巻頭言

## 新年度を迎えて

岩田 宙造\*

我国は世界一の長寿国になり、空前の高齢化社会を迎えようとしています。それは革新的な医療技術の進歩、とりわけ新しい医薬の開発が貢献していると言えます。これまでの医薬品産業は欧米からの技術導入で成長を続け、残念ながら入超産業であったのですが、近年新薬の開発力など技術面での国際競争力を急速に身に付け、医薬品の技術料収支は1986年から黒字に転換しました。我国で開発された脱コレステロール剤「メバロチン」、抗菌剤「タリピット」、心臓病薬「ヘルベッサー」、抗生物質「セフспан」などの輸出も急拡大し、世界市場をターゲットに企業の欧米への進出も活発化し、関連記事が新聞の経済面を賑わす日も多くなりました。医療と密接に関連した生命科学は社会の大きな関心事で、国際的評価に耐える独創的医薬品の創製と言う夢は今や、歴史ある道修町に本拠を置く製薬会社だけのものではなく化学、食品、繊維から鉄鋼、金属、電機など多くの異業種企業までがその夢実現に賭けています。一つの新薬を開発するには十年、百億円と言われ、そのうえにリスクの大きい仕事ですが新薬開発能力は企業の存続を左右するものとなっています。医薬品産業は知識集約型、省資源型で資源の乏しい我国の国情に合ったものであり、我国は21世紀に向けて世界をリー

ドする立場に大きく変貌しようとしています。新薬開発スタッフの中心となる優秀な人材を求めて各企業が必死に求人活動をしているのが現状です。薬学は極めて総合科学性の高い幅広く奥深い学問分野であり、学生は過密なカリキュラムの消化、更に実習、実験で体得しなければならない事が多く、非常に地味な努力と忍耐が要求されます。それらの勉強を通じて、いつのまにか生命現象を物質、特に薬を通して捉えるセンスと、創薬の苦勞に耐える根気と力が培われ、他学部出身者とは一味違う人材が育成されていくようです。

また最近、炭酸ガスによる地球の温暖化、酸性雨、フロンガスによるオゾン層破壊、金属汚染等の地球レベルでの環境汚染が進行し、我々人類を取り巻く自然生態系の破壊と言う問題が大きくなって来ました。環境汚染物質の人体への影響を把握し、環境破壊を未然に防ぐ対策を立て、より良い生活環境を維持する仕事も、医学と両輪になって、薬学の果たすべき新しい重大な使命となっています。近年の学問、研究分野の著しい進歩発展に対応し、高度の専門教育を受けた大学院卒業生を社会は期待し、人材確保は産業界だけでなく大学でも深刻になりつつあります。今年度は大学院、研究科を中心にして、研究、教育環境の整備拡充、教員、学生の増員、専攻の再編成薬剤師の資質向上、途上国からの留学生の受け入れ、社会人再教育など山積する問題を早急に解決せねばならないと考えています。

\*岩田宙造 (Chuzo IWATA), 大阪大学薬学部部長, 教授, 薬学博士, 薬品製造学